

2014年9月5日

## 公益財団法人食生活研究会 第22回「食と健康」講演会を開催

日清製粉グループ（株式会社日清製粉グループ本社 社長：大枝 宏之）が支援している公益財団法人食生活研究会（理事長：正田 修）は、本年10月7日（火）に、**第22回「食と健康」講演会**を開催します。

1941年に発足した公益財団法人食生活研究会では、「健康で豊かな食生活の向上に寄与する」ことを目的に、食料及び食生活に関する研究者または研究機関への助成、講演会等の開催及び講演会記録誌等の刊行、海外からの留学生に対する支援等を行っています。その一環として、「食と健康」講演会を毎年開催しています。

### ■ 第22回「食と健康」講演会概要

- ・ 日 時：2014年10月7日（火） 14：00～17：20
- ・ 場 所：社団法人クラブ関東（定員150名）  
東京都千代田区丸の内1-3-1 東京銀行協会ビルディング19階  
電話：03-5221-8955（代表）
- ・ テーマ：<第一部> 研究報告
  - 1 「食品中の低分子化合物のアレルギーに関する研究」  
発表者：穂山 浩 氏（国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部長）
  - 2 「わが国の食生活の形成 ～戦後の食料政策史の視点からのアプローチ～」  
発表者：森田 明 氏（宮城大学食産業学部准教授）
- <第二部> 講演
  - 1 「健康づくりと生活習慣 ～科学的エビデンスの提供～」  
講 師：石見 佳子 氏（国立健康・栄養研究所食品保健機能研究部長）
  - 2 「健康長寿を目指した食生活の基本 ～食事のなかの炭水化物の意義～」  
講 師：石田 均 氏（杏林大学医学部第三内科教授）
- ・ 参加料：無料

当講演会のお申し込みに関するお問い合わせ先  
株式会社日清経営技術センター 担当：早川  
東京都千代田区神田錦町1-25 電話03-5282-6550

この件に関する報道関係者の方のお問い合わせ先  
株式会社日清製粉グループ本社 総務本部 広報部 担当：佐々井、堀野  
東京都千代田区神田錦町1-25 電話03-5282-6650

## ■ 講演者プロフィール

### 石見 佳子 氏

国立健康・栄養研究所食品保健機能研究部長

昭和31年(1956年)生まれ。昭和55年(1980年)東京理科大学薬学部卒業。昭和大学歯学部生化学助手(歯学博士取得)、アルバートアインシュタイン大学客員研究員、三菱化学生命科学研究所博士研究員を経て、平成6年(1994年)国立健康・栄養研究所食品科学部主任研究官、平成12年(2000年)同研究所食品保健機能系室長、平成21年(2009年)より同研究所食品保健機能研究部長。内閣府食品安全委員会専門委員他、多くの審議会等の委員を務めている。

研究テーマ:「骨粗鬆症の予防を目的とした栄養生理学的研究」、「食品成分の有効性評価及び健康影響評価に関する研究」

主な著書:「骨の健康と生活習慣(薬事日報)」、「健康・栄養食品アドバイザーテキストブック(第一出版)」、他多数

### 石田 均 氏

杏林大学医学部第三内科教授

昭和28年(1953年)生まれ。昭和53年(1978年)京都大学医学部卒業。昭和60年(1985年)同大学院医学研究科単位修得。カリフォルニア大学客員研究員、京都大学医学部助手を経て、平成8年(1996年)京都大学医学部助教授、平成10年(1998年)より杏林大学医学部第三内科教授。

2型糖尿病におけるインスリン分泌低下やインスリン抵抗性の成因解明とともに、その合併が明らかになりつつある骨代謝異常の病態について基礎ならびに臨床的な検討を進めている。

## ■ 食生活研究会の概要

1941年(昭和16年)、日清製粉株式会社の創始者・正田貞一郎は、会社の拠出金100万円を基金とし、学会の権威者である鈴木梅太郎、坂口謹一郎、水島三一郎各教授らと共に、農産物に関する科学的研究促進のため、財団法人農産化学研究会を設立しました。

戦後、食生活の変容に伴い、目的を「食糧の構成並びに食生活に関する科学的研究を行い、国民の食生活の改善向上に寄与する」とし、名称も「財団法人食生活研究会」と改称しました。歴代の理事長は、正田貞一郎、渋沢敬三元大蔵大臣、山際正道元日銀総裁、正田英三郎元日清製粉(株)名誉会長相談役、藤巻正生東京大学名誉教授の諸氏であり、現在は正田修(株)日清製粉グループ本社名誉会長相談役がその任に当たっています。平成25年4月に公益法人制度改革による公益認定を受け、名称を「公益財団法人食生活研究会」に、目的を「健康で豊かな食生活の向上に寄与する」に変更しました。

(食生活研究会WEBサイト: <http://www.z-ssk.org/>)